

活動支援（ホップ）部門採択事業報告

事業名	注文を忘れるレストラン	
実施団体名	特定非営利活動法人 地域福祉サポートおれんじの輪	
事業の目的	市民が認知症の人と実際にふれあうことで認知症に対する理解を深めるとともに認知症の人がいきいきと活躍できる場づくりを行う。	
補助金額	87,000 円	
事業の概略	8 月 25 日（土）法人事務所で市民の認知症に対する理解を深めるための講演会を開催した（38 名参加）。 10 月 28 日（土）2 回（昼の部、夜の部）法人事務所で、認知症の人がフロアスタッフとして従事し、市民の方はそのことを理解したうえで来店していただく「注文を忘れるレストラン」を実施した（認知症従事者 6 名）（スタッフ 20 名）（来店者数 50 名）	
事業の効果・成果	○認知症スタッフがいきいきした笑顔で配膳や参加者との交流を楽しむなど予想を超えた力を発揮できた。 ○他分野の人達による実行委員会を立ち上げたことで企画の幅が広がった。	
実施しての問題点	○広告、チラシで事業の趣旨を伝えることの難しさ（食事を目当てに参加する人少数あり） ○参加してくれた認知症介護家族でもまだまだ他人に認知症であることを知られたくない気持ちがあることに気付く。十分配慮できなかった点があった。	
課題・今後の展望	○参加者からも称賛の声をいただき、このような機会を度々設けてほしいと要望も多数あったことから継続的に実施することは必要である。 ○飲食店経営の委員からも次回は自分の店でやりたいという意見も出ており、今後様々な場所に拡散していけるとよい。	
審査員評価	○認知症当事者のモチベーションアップにつながる。 ○認知症のイメージアップ。 ○来店者の集客とコミュニケーション ○認知症の人に生きがいを与えた。 ○実行委員会の組織がしっかりしている。	
アドバイス・期待する点	○開催回数や場所の増加に対応できるようなボランティアスタッフの体制。 ○開催を通じた当事者及び介護家族との関係づくり「おもてなし」で開けていく社会のつながりを紡いでいってください。 ○認知症カフェによる継続性。 ○年に複数回やってほしい。 ○同じ活動を複数の NPO が市域全体で取り組むほどのレベルになれば、市から支援、行政から任される取り組みになるのではないかな。	